

千葉県立美術館開館 50 周年記念

講演会「アートのはじまり」

50th

昨年、開館 50 年を迎えた千葉県立美術館は、「アートを問う」を新しい活動のテーマとしました。人間とアートは、切っても切れない関係です。アートとは何かを考えることが、私たち自身を探ることにつながっています。今回の記念講演会では、ずばり「アートのはじまり」について考えてみましょう。

2 回連続の講演会の 1 回目は、アーティストの鴻池朋子さんをお招きしました。続く 2 回目はゴリラ研究者、人類学者の山極壽一先生です。



3/ 2 (日)

15 : 00 — 16 : 30

山極 壽一

総合地球環境学研究所 所長

「ゴリラの森から見える、 ヒトとアートのゆくえ」

講演の 2 回目は、ゴリラ社会と人間社会に顔（と名前）をよく知られている山極壽一先生。ゴリラを深く詳しく知ることから、ヒトの起源や成り立ちに迫ろうとされてきた方です。なぜ、ヒトは家族をつくるの？ なぜ、ヒトは社会をつくるの？ ヒトはなぜ、文化をもってしまったの？ これからヒトはどうなるんだろう？ 実は最近、山極先生はアート界からも引っ張りだこののです。

事前申込制
申込はこちら



会場：千葉県立美術館 講堂

お問合せ先：千葉県立美術館

〒260-0024 千葉市中央区中央港 1-10- 1 Tel : 043-242-8311



詳細は
こちら